

DMAT活動記録

活動日	8月31日(水)
活動内容	磐城共立病院待機
活動場所	広野体育館
活動DMAT	日本医科大学千葉北総病院

DMATメンバー	
医師	松本 尚
医師	本村 友一
看護師	水野 憲宏
調整員	渡邊 暁洋
調整員	山内 延貴
マネージメントチーム	

時刻	内容
7:30	平ビューホテル出発
8:15	広野体育館到着
8:34	ウイレッジへ挨拶のため移動(本村医師, 水野看護師)
8:40	関係者スクリーニング開始
8:50	一時立入住民受付(檜葉町・富岡町)開始
9:30	一時立入住民受付(檜葉町・富岡町)終了, 東電による説明開始
10:20	説明終了, 乗車開始
10:22	檜葉町1号出発
10:24	富岡町1号出発
10:30	一時立入住民受付(大熊町・双葉町)開始
10:40	一時立入住民受付(大熊町・双葉町)終了, 東電による説明開始
11:35	説明終了, 乗車開始(大熊町1号バス故障)
11:36	大熊町1号乗車可能
11:41	双葉町1号出発
11:43	大熊町3号出発
11:44	大熊町2号出発
11:45	大熊町1号, 同4号出発
12:45	檜葉町1号到着(自家用車9台回収)
14:53	双葉町1号到着(自家用車7台回収)
15:04	富岡町1号到着(自家用車12台回収)
15:07	大熊町2号到着(自家用車16台回収)
15:20	大熊町4号到着(自家用車18台回収)
15:52	大熊町1号到着(自家用車16台回収)
16:10	大熊町3号到着(自家用車17台回収)
17:10	撤収
17:50	平ビューホテル到着

傷病者情報

日付	時間	市町村	通し番号	性別	年齢	症状	診断	対応	転機
8月31日	12:13	スタッフ	東電	男	58	右Ⅱ指, 右手背の腫脹・刺し口有	虫刺傷	リンデロンVG-O塗布	帰宅
8月31日	15:17	双葉町	1-3-1	女	69	椅子に引っかかり転倒	両膝打撲	冷却・安静指示	帰宅

一時帰宅住民情報

実施場所 広野体育館

行き先市町村 檜葉町
富岡町

号車 1
号車 1

被ばく線量 檜葉町 1~1 μ SV
富岡町 6~9 μ SV
空間線量 檜葉町 0.51~1.89 μ SV
富岡町 0.50~9.36 μ SV

檜葉町

バス番号	住民数 (確定数)
1	9
計	9

関係者

職種	人数
安全管理	2
放射線管理	1
引率者	1
ドライバー	6
消防	6
その他	22
JAF	4
誘導	15
計	57

運転手1・巡回バス運転手3・予備2
担当不明のため全数
「道の駅ならば」職員
檜葉町2・広野待機2

計	住民計	9
	関係者計	57
	計	66

富岡町

バス番号	住民数 (確定数)
1	13
計	13

関係者

職種	人数
安全管理	2
放射線管理	1
引率者	2
ドライバー	1
公用車	1
JAF	2
計	9

計	住民計	13
	関係者計	9
	計	22

名称		車持出進行管理表 (平成23年 8月 31日)				[中継基地 : 広野中央体育館 馬事公苑]							
対象市町村		木曾 榛所 富田 大熊 双葉											
バス番号	行先および人数		中継基地 出発時刻	警戒区域 立入時刻	回収開始	公用車失乗	回収終了	道の駅ならは到着			中継基地 到着時刻	備考	
	行先	世帯数/人数						道の駅ならは到着	警戒区域 退出時刻	中継基地 到着時刻			
1号車	楢葉	9/9	10:22	10:29	10:39		12:15 ₉	公用車 バス	12:24	12:35	12:45	0	0
1号車	富田	13/13	10:24	10:32	11:01	12:36 ₉	14:15 ₄	公用車 バス	13:02 14:40	13:14 14:56	13:23 15:04	3	1
1号車	大熊	17/17	11:45	11:53	12:23	14:00 ₉	15:05 ₇	公用車 バス	14:33 15:30	14:52 15:44	14:59 15:52	15	1
2号車	大熊	16/16	11:44	11:52	12:32	13:27 ₇	14:17 ₉	公用車 バス	13:57 14:48	14:08 15:00	14:15 15:07	7	0
3号車	大熊	17/17	11:43	11:51	12:22	13:57 ₁₀	15:27 ₇	公用車 バス	14:30 15:52	14:45 16:03	14:55 16:10	7	0
4号車	大熊	18/18	11:45	11:53	12:30	13:29 ₈	14:10 ₁₀	公用車 バス	14:03 14:52	14:14 15:10	14:24 15:20	8	0
1号車	双葉	7/7	11:41	11:48	12:29	13:39 ₅	14:00 ₂	公用車 バス	14:12 14:46	14:25 14:48	14:35 14:53	-	0
合計		97/97											

↳ 広野中央体育館の場合のみ記載する

実施日	平成23年 8月 31日	中継基地	広野中央体育館									
【気象情報】												
観測地点 広野江 小名浜	時刻	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00					
	気温(℃)	25.7	25.7	26.6	26.4	26.9	26.5	26.1	27.0	28.6	26.5	28.0
	天気	曇	曇	晴	曇	晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴
	風向	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東
	風速(m/s)	0.9	1.6	1.5	1.6	2.1	2.3	1.8	3.0	2.1	2.4	2.6
湿度(%)	84	81	77	75	80	78						
【線量情報及びタイベックス上下着用者数】												
バス番号	空間線量(μSv/h)		個人被ばく線量(μSv)		タイベックス上下 着用者数(人)							
	最小値	最大値	最小値	最大値								
楢 1号車	0.51	1.89	1	1	0							
富 1号車	0.50	9.36	6	9	3							
大 1号車	9.04	25.32	11	23	15							
2号車	5.42	15.97	7	18	7							
3号車	15.11	29.03	13	31	7							
4号車	8.75	14.92	6	12	8							
19 1号車	0.71	26.47	9	16	6							

DMAT活動記録

活動日	9月1日(木)
活動内容	磐城共立病院待機
活動場所	広野体育館
活動DMAT	日本医科大学千葉北総病院

DMATメンバー	
医師	松本 尚
医師	亀山 大介
看護師	本庄 貴志
調整員	渡邊 暁洋
調整員	山内 延貴
マネージメントチーム	

時刻	内容
7:30	平ビューホテル出発
8:20	広野体育館到着
8:50	関係者スクリーニング開始
9:05	一時立入住民受付(富岡町・双葉町)開始
9:45	一時立入住民受付(檜葉町・富岡町)終了, 東電による説明開始
10:28	説明終了, 乗車開始
10:32	富岡町1号出発
10:33	双葉町3号出発
10:34	双葉町1号出発
10:37	双葉町2号出発
10:44	一時立入住民受付(大熊町)開始
11:10	一時立入住民受付(大熊町)終了, 東電による説明開始
11:50	説明終了, 乗車開始
11:54	大熊町7号出発
11:57	大熊町1号出発, 同4号出発
11:58	大熊町5号出発
11:59	大熊町8号出発
12:00	大熊町11号出発
12:01	大熊町2号出発
12:02	大熊町9号出発
12:03	大熊町6号出発
12:05	大熊町3号出発, 同12号出発
12:08	大熊町10号出発, 同13号出発
13:10	富岡町1号到着・降車終了
13:54	双葉町1号到着・降車終了
13:55	双葉町3号到着・降車終了
14:40	双葉町2号到着・降車終了
15:06	大熊町11号到着・降車終了
15:13	大熊町1号到着・降車終了
15:21	大熊町5号到着・降車終了
15:28	大熊町7号到着・降車終了
15:33	大熊町9号到着・降車終了
15:38	大熊町6号到着・降車終了
15:47	大熊町10号到着・降車終了
15:50	大熊町12号到着・降車終了
15:59	大熊町8号到着・降車終了
16:07	大熊町3号到着・降車終了
16:18	大熊町13号到着・降車終了
16:24	大熊町2号到着・降車終了
16:32	大熊町4号到着・降車終了
16:47	スクリーニング終了
17:20	撤収
18:10	平ビューホテル到着

一時帰宅住民情報

実施場所 広野体育館

行き先市町村 富岡町
双葉町

号車 1
号車 1~3

被ばく線量 富岡町 4~6 μ SV
双葉町 5~25 μ SV

空間線量 富岡町 2.01~7.51 μ SV
双葉町 0.34~16.15 μ SV

富岡町

バス番号	住民数 (確定数)
1	6
計	6

関係者

職種	人数
安全管理	1
放射線管理	2
引率者	1
ドライバー	3
消防	6
計	13

運転手1・予備2
担当不明のため全数

計	住民計	6
	関係者計	13
	計	19

双葉町

バス番号	住民数 (確定数)
1	14
2	15
3	8
計	37

関係者

職種	人数
安全管理	3
放射線管理	7
引率者	3
ドライバー	3
計	16

計	住民計	37
	関係者計	16
	計	53

一時帰宅住民情報

実施場所 広野体育館

行き先市町村 大熊町

号車 1～13
号車

被ばく線量 大熊町 12～95 μ SV

空間線量 大熊町 3.75～87.86 μ SV

大熊町

バス番号	住民数 (確定数)
1	19
2	19
3	21
4	19
5	16
6	19
7	16
8	19
9	16
10	17
11	19
12	19
13	19

計 238

関係者

職種	人数
安全管理	13
放射線管理	26
引率者	9
ドライバー	13
計	61

計	住民計	238
	関係者計	61
	計	299

傷病者情報

日付	時間	市町村	通し番号	性別	年齢	症状	診断	対応	転帰
9月1日	15:35	大熊町	7-1-2	女	69	右膝擦過傷	右膝擦過傷	生食20ml洗浄, バンドエイドで保護	帰宅
9月1日	15:35	大熊町	9-6-1	女	59	脱水症状	脱水症状	OS-1 500ml×2本を飲んでもらう	帰宅
9月1日	16:11	大熊町	3-10-1	男	81	左手の痺れ	筋肉痛, 脱水症	脱水予防のためOS-1(500ml)×1を飲んでもらう	帰宅
9月1日	16:34	大熊町	10-8-1	男	63	頭痛・脱水	脱水症・頭痛	飲水を促す, OS-1(500ml)1本, カロナール2T (処方)カロナール2T×2回分	帰宅
9月1日	16:46	報道関係者		男	46	虫刺され	虫刺傷	ムヒ2本処方	帰宅

実施日		平成23年 9月 1日		中継基地		元郷体育館								
対象市町村		富岡市・大熊町・双葉町												
バス番号	行先	行先および人数		中継基地差		警戒区域立入		警戒区域退出		中継基地差		備考		
		世界数/人数	乗車完了時刻	乗車開始時刻	乗車終了時刻	乗車開始時刻	乗車終了時刻	乗車開始時刻	乗車終了時刻	乗車開始時刻	乗車終了時刻			
富岡 1	号車	4/6	10:33	10:33	10:42	10:59	11:13	11:30	12:41	13:01	13:07	13:10	2	211, 212着時
大熊 1	号車	12/19	11:56	11:57	12:05	12:38	12:49	12:38	14:30	14:59	15:04	15:13	18	1-4時
大熊 2	号車	11/19	12:01	12:01	12:07	12:38	13:03	12:25	14:53	15:26	15:30	15:29	19	2-9時
大熊 3	号車	12/21	12:05	12:05	12:11	12:38	12:54	13:27	14:52	15:22	15:28	15:07	2/1	3-10時
大熊 4	号車	12/19	11:57	11:57	12:05	12:36	12:52	14:17	15:05	15:39	15:45	16:32	18	4-12時
大熊 5	号車	9/16	11:58	11:58	12:06	12:38	12:44	13:50	14:30	15:02	15:04	15:21	8	5時-6時
大熊 6	号車	10/19	12:03	12:03	12:11	12:39	12:51	13:20	14:32	15:10	15:16	15:38	19	6-3時
大熊 7	号車	9/16	11:55	11:55	12:03	12:37	12:52	13:16	14:32	15:08	15:14	15:28	16	7-6時
大熊 8	号車	11/19	11:59	11:59	12:06	12:50	13:00	14:04	14:46	15:18	15:23	15:54	18	8-1時
大熊 9	号車	9/16	12:02	12:02	12:08	12:35	13:00	13:11	14:37	15:09	15:14	15:33	16	10-9時
大熊 10	号車	11/17	12:08	12:08	12:17	12:47	13:01	13:23	14:43	15:16	15:21	15:47	16	10-9時
大熊 11	号車	12/19	12:00	12:00	12:06	12:35	12:52	14:10	14:31	14:55	15:01	15:06	19	11-14時
大熊 12	号車	10/19	12:05	12:05	12:12	12:37	12:55	13:30	14:45	15:18	15:23	15:50	15	12-10時
大熊 13	号車	12/19	12:08	12:08	12:17	12:46	13:07	14:25	14:55	15:25	15:30	16:18	19	13時-14時
双葉 1	号車	9/14	10:34	10:34	10:46	11:18	11:34	12:13	13:09	13:41	13:48	13:56	13	1-7時
双葉 2	号車	8/15	10:37	10:37	10:45	11:23	11:43	12:35	13:55	14:28	14:34	14:50	15	2-5時
双葉 3	号車	4/8	10:33	10:33	10:42	11:17	11:37	12:05	13:05	13:46	13:52	13:55	6	3-24時
合計	193km以内	165	281											
	157	267												

実施日		平成23年 9月 1日		中継基地		元郷体育館		
【気象情報】								
観測地点	時刻	7:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00
気温(℃)	24.9	24.7	25.0	24.6	24.3	24.2	22.4	24.7
天気	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴
風向	北西	北西	北西	北西	北西	北西	北西	北西
風速(m/s)	0.4	0.7	0.2	0.8	1.9	2.1	1.9	1.6
湿度(%)	87	82	79	75	81	77	82	
【観量情報及び9台バススワップ上下着用品数】								
バス番号	空間観量(μSv/h)		個人計測(μSv)		9台バススワップ上下着用品数(人)			
	最小値	最大値	最小値	最大値				
富岡 1号車	2.01	7.51	4	6	2			
大熊 1号車	4.10	6.84	6	14	18			
大熊 2号車	3.75	67.16	12	53	19			
大熊 3号車	18.02	41.23	21	38	21			
大熊 4号車	22.75	49.55	33	6.6	18			
大熊 5号車	13.10	87.86	32	68	8			
大熊 6号車	32.44	75.90	38	63	19			
大熊 7号車	42.80	71.75	34	55	16			
大熊 8号車	37.61	77.98	48	69	18			
大熊 9号車	7.56	55.94	12	40	16			
大熊 10号車	16.72	50.94	30	52	16			
大熊 11号車	23.45	31.58	21	43	19			
大熊 12号車	33.71	87.35	34	60	15			
大熊 13号車	8.32	77.82	38	95	19			
双葉 1号車	1.48	5.45	6	15	13			
双葉 2号車	1.03	16.15	8	25	15			
双葉 3号車	0.34	13.26	5	13	6			
【スクリーニング終了時刻】								

DMAT活動記録

活動日 9月2日(金)
活動内容 磐城共立病院待機
活動場所 磐城共立病院
活動DMAT 日本医科大学千葉北総病院DMAT

DMATメンバー
 医師 飯田 浩章
 医師 亀山 大介
 看護師 本庄 貴志
 調整員 渡邊 暁洋
 調整員 山内 延貴
 マネージメントチーム

時刻	内容
8:10	平ビューホテル出発
8:30	磐城共立病院到着, 定時連絡(OFC医療班, DMAT事務局)
9:05	Jヴィレッジへ出発(全員)
10:00	到着, ミーティングへ参加
10:22	ミーティング終了, Jヴィレッジを出発
11:25	磐城共立病院到着
15:00	MCA無線にてOFC医療班へウェブ会議の有無を確認
15:07	OFC医療班よりシステム不良のメールが有り
15:23	ウェブ会議の中止メールが有り
17:05	撤収

傷病者情報

日付	時間	市町村	通し番号	患者名	性別	年齢	症状	診断	対応	転機

一時帰宅住民情報

実施場所

行き先市町村

号車
号車

被ばく線量

μSV

μSV

空間線量

μSV

μSV

関係者

バス番号	住民数 (確定数)		
計		0	

職種	人数
安全管理	
放射線管理	
引率者	
ドライバー	
消防	
警察	
ペット回収	
その他	
公用車	
計	0

計	住民計	
	関係者計	
	計	

関係者

バス番号	住民数 (確定数)		
計		0	

職種	人数
安全管理	
放射線管理	
引率者	
ドライバー	
消防	
警察	
ペット回収	
その他	
公用車	
計	0

富岡町

計	住民計	
	関係者計	
	計	0

DMAT活動記録

活動日	9月3日(土)
活動内容	磐城共立病院待機
活動場所	磐城共立病院
活動DMAT	日本医科大学千葉北総病院DMAT

DMATメンバー		
医師	飯田	浩章
医師	亀山	大介
看護師	本庄	貴志
調整員	渡邊	暁洋
調整員	山内	延貴
マネジメントチーム		

時刻	内容
8:10	平ビューホテル出発
8:28	磐城共立病院到着
8:45	定時連絡(OFC医療班, DMAT事務局)
15:00	Web会議開始(飯田医師出席)
15:40	Web会議終了
17:00	撤収

傷病者情報

日付	時間	市町村	通し番号	患者名	性別	年齢	症状	診断	対応	転機

一時帰宅住民情報

実施場所

行き先市町村

号車
号車

被ばく線量

μSV

μSV

空間線量

μSV

μSV

関係者

バス番号	住民数 (確定数)		
計		0	

職種	人数
安全管理	
放射線管理	
引率者	
ドライバー	
消防	
警察	
ペット回収	
その他	
公用車	
計	0

計	住民計	
	関係者計	
	計	

関係者

バス番号	住民数 (確定数)		
計		0	

職種	人数
安全管理	
放射線管理	
引率者	
ドライバー	
消防	
警察	
ペット回収	
その他	
公用車	
計	0

富岡町

計	住民計	
	関係者計	
	計	0

DMAT活動記録

活動日 9月4日(日)
活動内容 磐城共立病院待機
活動場所 磐城共立病院
活動DMAT 日本医科大学千葉北総病院DMAT

DMATメンバー
 医師 飯田 浩章
 医師 亀山 大介
 看護師 本庄 貴志
 調整員 渡邊 暁洋
 調整員 山内 延貴
 マネージメントチーム

時刻	内容
8:15	平ビューホテル出発
8:30	磐城共立病院到着, 定時連絡(OFC医療班, DMAT事務局)
14:00	災害医療センターDMAT事務局到着, 引継ぎ開始
14:20	引継ぎ完了・撤収

傷病者情報

日付	時間	市町村	通し番号	患者名	性別	年齢	症状	診断	対応	転機

一時帰宅住民情報

実施場所

行き先市町村

号車
号車

被ばく線量

μSV

μSV

空間線量

μSV

μSV

関係者

バス番号	住民数 (確定数)		
計	0		

職種	人数
安全管理	
放射線管理	
引率者	
ドライバー	
消防	
警察	
ペット回収	
その他	
公用車	
計	0

計	住民計	
	関係者計	
	計	

関係者

バス番号	住民数 (確定数)		
計	0		

職種	人数
安全管理	
放射線管理	
引率者	
ドライバー	
消防	
警察	
ペット回収	
その他	
公用車	
計	0

富岡町

計	住民計	
	関係者計	
	計	0

撤収隊 国立病院機構災害医療センター

福島待機DMAT活動記録 撤収隊（国立病院機構災害医療センター）

1 活動期間

平成23年9月4日（日）～9月7日（水）

2 派遣人員

近藤 久禎（医師）
小早川 義貴（医師）
矢島 徳和（放射線技師）
大野 龍男（業務調整員）
市原 正行（業務調整員）

3 活動内容

- ・ 福島第一原発での多数傷病者発生に備えたDMATの福島待機活動終了に伴い、福島関係機関への活動終了報告・謝意表明・意見交換
- ・ 待機DMATが使用した当院所有機材（PC、MCA無線機等）の回収
- ・ 一時立入中継基地での医療班としての対応（9月7日、広野中央体育館）

4 時系列活動記録

9月4日（日）

- 10:00 災害医療センター出発
12:50 いわき市内到着
13:55 いわき市立総合磐城共立病院到着
第22次隊の日本医科大学千葉北総病院DMATから業務引き継ぎ
14:30 日本医科大学千葉北総病院DMAT活動終了、離任
15:00 オフサイトセンター医療班ウェブ会議出席、DMATの活動終了を報告
15:15 ウェブ会議終了
15:30 いわき市立総合磐城共立病院長、救命救急センター長に活動報告
15:45 いわき市立総合磐城共立病院出発、宿舎にて資料整理

9月5日（月）

- 9:00 いわき市内の宿舎出発
10:00 Jヴィレッジ到着、医療班ミーティングに参加。
DMATの活動終了を報告。
10:30 Jヴィレッジ出発、福島市へ移動、資料整理

9月6日(火)

- 10:30 福島市内の宿舎出発
- 10:50 福島県立医科大学附属病院到着。関係者へ活動報告。
- 12:00 福島県立医科大学附属病院出発。
- 13:00 福島県庁到着。
馬場地域医療課長への活動報告と意見交換。
- 14:00 オフサイトセンター(福島県庁舎内)訪問
医療班への活動報告。
- 14:30 福島県庁にて、佐藤保健福祉部長と面談。活動報告。
- 16:00 日本赤十字社福島県支部到着。
事務局長、事業推進課長、組織振興課社員係長と面談。活動報告。
- 17:00 日本赤十字社福島県支部出発。

9月7日(水)

- 8:00 矢島放射線技師合流、福島市内の宿舎出発
- 9:45 広野中央体育館到着
 - ・体制：現地医療班統括(医療班長)：後藤謙和(厚労省)
医療班(マネジメントチーム)：災害医療センター
医療班(救護エリア担当)：坂下厚生総合病院医療班
 - ・一時立入者：双葉町(対象者数80世帯/141名)※全世帯3km圏
 - ・利用バス等：専用バス10台
- 16:20 活動終了。広野体育館出発。

Ⅱ. 分担研究報告

分担研究報告

「国際連携ネットワークを活用した
健康危機管理体制構築に関する研究」

研究分担者 明石 真言
(放射線医学総合研究所 理事)

「国際連携ネットワークを活用した健康危機管理体制構築」に関する研究
研究分担者 明石真言 放射線医学総合研究所 理事

研究要旨 国際演習、東電福島原発事故対応、国際会議を通して、貴重な情報が得られた。バイオアッセイ等のネットワーク化の必要性が示唆された。

A. 研究目的

NBC テロの際には多数の周辺にいた人々が汚染する事態が考えられる。この際の初動体制が重要であり、多数の人々のスクリーニングや検体検査を含めた対応処置について、各国からの過去の事例を含めて情報収集および検討し、東京電力福島第一原子力発電所事故について各国と情報共有をし、各国の参考に資することを目的とする。

B. 研究方法

研究期間中に東京電力福島第一原子力発電所に事故が発生した。この事故は、地震、津波と放射性物質の環境への放出による複合災害である。この事故対応から、テロ対応へ応用可能な問題点を抽出した。まず医療要員に放射線に関する知識が不十分であったこと、スクリーニングレベルの柔軟性、つまり少人数時と大人数時での対応であった。一時帰宅においては、放射性物質付着に関して住民と物品のスクリーニングが計画的に行われたが、訓練ではなく、実際のスクリーニングが多人数に必要となったこれまで無かった事例であり、この活動を通して、スクリーニング体制に関して大きな議論が行われた。その他にも放射性物質による汚染遺体に関して、スクリーニング基準の消防、医療施設、自治体間の差等問題点多く抽出された。

また、2010 年 10 月 26 と 27 日には、(26th 11:30 CET- 27th 15:00 CET)に開催された GHSAG テロ対応国際机上演習に参加し、日本の対応体制を

検証した。この演習は、Table Top Exercise ECLIPSE と呼ばれる多国間机上演習であり、訓練目標は世界健康安全保障行動グループ(Global Health Security Action Group, GHSAG)加盟国に脅威を与える潜在的脅威への対応初期の不確かな段階での国際的情報交換であった。訓練はブラインド訓練で放射線テロを想定して行われた。放医研の実対応時間は日本時間 26 日 20:17-27 日 02:28 及び 27 日 16:16-18:39 であった。さらに H24 年 10 月 1、2 日に、千葉県千葉市の放射線医学総合研究所において、Global Health Security Initiative(GHSI、世界健康安全保障イニシアティブ) Radio-Nuclear Threats Working Group; Face-to Face Meeting を開催した。この会合では、カナダ、フランス(グループ主査)、ドイツ、日本、英国、米国、WHO の専門家と活発な情報交換が行われた。

C. 研究結果

国際演習、東電福島原発事故対応、国際会議を通して、貴重な情報が得られた。一方では、災害ではない NR テロ対応に、外国機関との協力の難しさも露呈した。また、GHSAG やバイオアッセイの測定ネットワーク化等、国際的協力の必要性が確認された。

D. 考察

外国との情報共有は双方向に大切であり、今後も推進すべきと考えられる一方、具体的な外国間の

協力の進め方も議論の不可欠である。

E. 結論

- 今後も国際的演習には積極的に参加し、関係者の資質向上に努めること同時に、外国との協力の在り方に関しては、さらなる議論が不可欠と考えられた。
- スクリーニング、除染等の防災要員の防護服は、他の環境因子も考え、総合的な安全性を考える必要性が示唆された。
- バイオアッセイは重要な診断情報を与えてくれるが、能力のある測定研究施設は限られており、また処理能力も限られるので、ネットワーク化が必要であることが示唆された。
- 放射線災害を含む複合災害対応からは、多くのNRBCテロ対応に必要な問題点が抽出された。

F. 健康危険情報 なし

G. 研究発表

1. 論文発表

- (1) 明石真言：緊急被ばく医療支援チーム REMAT の創設、Isotope News、677、12-14、2010
- (2) 明石真言：緊急被ばく医療一万が一のセーフティーネット、文部科学時報、6月号、2010
- (3) 蜂谷みさを、明石真言：放射線災害での取り組み、病院設備、52(5)、41-45、2010
- (4) 明石真言：原子力災害と病院の役割、病院、69(6)、446-451、2010
- (5) 富永隆子、明石真言：放射線事故・災害と放射線被ばくに備えて－放射線被ばく事故についての基礎的知識の整理－、臨床精神医学、40(11)、1439-1447、2011
- (6) 谷川攻一、富永隆子、立崎英夫、明石真言、その他：福島原子力発電所事故災害に学ぶ－震災後5日間の医療活動から－、日本救急

医学会雑誌、22、782-791、2011

- (7) 明石真言、蜂谷みさを、富永隆子、立崎英夫、鈴木敏和、山田裕司：我が国の最先端研究開発：社会基盤としての緊急被ばく医療、日本原子力学会誌：アトモス、51(5)、336-343、2011
 - (8) 明石真言、富永隆子、後藤孝也：日本の緊急被ばく医療の実際、保健の科学、53(12)、804-809、2011
 - (9) 明石真言：ヨウ化カリウム服用の適応・副作用、日本医事新報、(4563)、61-62、2011
 - (10) 明石真言、仲野高志、蜂谷みさを：放射線被ばくの測定法とリスクの考え方、日本医事新報、(4566)、81-88、2011
 - (11) 明石真言：内部被曝とその考え方、医学のあゆみ、239(10)、953-958、2011
 - (12) 明石真言、蜂谷みさを：原子力防災訓練の実際、救急医療ジャーナル、112(19)、42-47、2011
 - (13) 明石真言：放射線と正しく向き合うために 公衆衛生従事者に必要な基礎知識、公衆衛生、75(11)、824-829、2011
 - (14) 明石真言：放射線との出会い、Isotope News、(694)、1-1、2012
 - (15) 明石真言、後藤孝也、蜂谷みさを：放射線被ばく事故、最新医学、67(3月増刊)、137-148、2012
 - (16) 明石真言、富永隆子、高嶋貴志、道川祐市、蜂谷みさを：我が国の緊急被ばく医療の現状と展望、日本臨牀、70(3)、469-474、2012
 - (17) 富永隆子、蜂谷みさを、明石真言：放射線による災害、内科、110(6)、1056-1062、2012
 - (18) 明石真言：低線量放射線被ばくの長期的影響、臨床血液 第74回日本血液学会学術集会 教育講演特集号、53(10)、1883-1887、2012
- ### 2. 学会発表
- (1) 明石真言：事例報告・国内外における最近の